

## 施設における感染拡大予防ガイドライン

峡南高等技術専門学校

令和2年5月25日

### 【 3密の回避 】

#### ① 換気設備の設置等（「密閉」の回避）

- 教室や実習棟は、原則として窓は全開して授業を行う。夏期や冬期に冷暖房を使用する際は、50分に1回（授業ごと）、10分程度、2方向の窓を全開する。

#### ② 施設内の混雑の緩和（「密集」の回避）

- 教室や実習棟は、マスク着用を前提としたうえで、25人以上は入室させない。（最低1mの対人距離を確保）
- 昼食・休憩時間には、密集しないよう職員が声がけを行う。

#### ③ 人と人との距離の確保（「密接」の回避）

- 授業中は、原則として最低1m（マスク着用のない場合は2m）の対人距離を確保する。
- 昼食時は、実習棟や屋外なども活用して、1人あたり3㎡のスペースを確保する。
- 人と人が対面する形にならないよう、授業・実習の内容を調整する。
- 近距離での会話や発声を避けるよう、生徒に周知する。

### 【 その他の感染防止対策 】

#### ④ マスクの着用

- 教室では、教職員、生徒ともに、全員がマスクを着用するよう指導する。ただし、夏期の実習では熱中症の危険性が高まるため必須としない代わりに、距離の確保（2m以上）を徹底する。

#### ⑤ 手洗い・手指消毒

- 教職員、生徒ともに、手洗いの徹底を指導する。

#### ⑥ 体調チェック

- 各科・各学年に非接触式体温計を備え、教職員、生徒ともに、登校や授業開始前に検温・体調確認を徹底する。
- 発熱（例えば平熱より1度以上）や軽度であっても風邪症状（せきやのどの痛みなど）、嘔吐・下痢等の症状、倦怠感等がある場合には、出勤・出席を停止する。

#### ⑦ トイレの衛生管理

- 不特定多数が接触する場所（便座、スイッチ、洗浄レバー等）は、定期的に清拭消毒を行う。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示する。
- ハンドドライヤー、共通タオルは設置しない。

#### ⑧ 休憩スペースのリスク軽減

- 昼食時や休憩時間は、教室のほか、実習棟や屋外も活用し、一か所に密集しないよう指導する。

#### ⑨ 喫煙スペースの使用制限

- 喫煙スペースは閉鎖する。

#### ⑩ 清掃・消毒

- 机、椅子の背もたれ、ドアノブ、スイッチ、手すり、キーボードなど、複数の人の手が触れる場所を高濃度エタノールや市販の界面活性剤含有の洗浄剤等を用いて定期的に清拭消毒する。
- 鼻水や唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に密閉して捨て、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用し、脱いだ後は石けんで手を洗う。